

仕 様 書

1. 件 名 病理標本作製装置の更新
2. 数 量 1 式
3. 目 的 現在使用している全自動染色装置(資産番号:H27SN06295-000)および密閉式自動固定包埋装置(資産番号:H27SN04873-000)が耐用年数を大幅に超過して実働している。
安定的な検査体制(病理標本作製過程における自動でのH E 染色・パパニコロー染色、および組織検体の「固定」、「脱水」、「脱脂」、「置換」、「パラフィン浸透」処理の実施)を維持するため、これら装置の更新を行う。
4. 納入期限 ①全自動染色装置
令和8年3月19日
②密閉式自動固定包埋装置
令和8年3月13日
5. 納入方法 据付調整後渡し
6. 設置場所 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
QST 病院 1 階 病理検査室
7. 仕様・性能
 - (1) 全自動染色装置 1 台
 - 1) スライドラック(染色かご)を連続投入することが出来、同時染色が可能であること。
 - 2) 2 種類以上の染色プログラムを同時処理できること。
 - 3) 試薬節約のため、試薬容器の大きさは、3 種類程度から選べること。
 - 4) 操作パネルは、カラー液晶カラーでタッチパネル操作であること。
 - 5) モニターで試薬容器ごとにカラー設定が可能で、複数の染色プログラムが容易に作成できること。プログラム数は最大 50 メモリー以上あること。
 - 6) バーコード管理による試薬管理が可能で、試薬の交換時期の表示、使用回数時間などの管理・確認ができること。
 - 7) 設置可能面積の都合により、測定装置(本体)は、幅:1300mm×奥行:720mm×高さ:750mm 以下であること。
 - (2) 密閉式自動固定包埋装置 1 台
 - 1) 操作画面はタッチパネルのカラー表示とし、イラストや文字によるガイドで検体処理ステップを表示できること。
 - 2) 操作画面上でプログラム確認や薬液交換管理ができること。

- 3) 検体処理中のトラブルを未然に防ぐために、処理開始前のボトル接続確認時に減圧／加圧、配管詰まり有無を点検する自己点検機能があること。
- 4) パラフィン工程を4槽構造とし、大型検体のキシレン置換とパラフィン浸透にも対応可能なこと。
- 5) 一回の処理で250カセット以上の処理ができること。
検体が少なく150カセット以下で処理する場合には、使用する薬液量を節約することができること。
- 6) 作業環境保護として、レトルト、パラフィンオープン、薬液ボトルラック内の排気を吸引し、活性炭フィルターで捕集できること。
- 7) 設置可能面積の都合により、測定装置（本体）は、560（W）×620（D）×1350（H）mm以下であること。

8. 設置・調整等

納入する際は、事前に当院担当者と日時を調整のうえ指定場所へ搬入し、装置が正常に稼働するように設置・調整を行うこと。

9. 検査条件

6項に示す納入場所に納入し、員数検査、外観検査、動作確認の合格、12項に示す書類の提出をもって検査合格とする。

10. 契約不適合責任

契約不適合責任については、契約条項のとおりとする。

11. グリーン購入法の推進

- 1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）の採用が可能な場合は、これを採用するものとする。
- 2) 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

12. その他

- 1) 納入後は機器のサポート体制を有し、故障時はコールセンターの電話対応や作業員派遣が迅速に行えること。
- 2) 納入後1年間は、当機構の責によらない不備が生じた場合、無償で敏速に交換・修理に応じること。
- 3) 上記の装置本体の導入に際して、設置後に具体的な操作マニュアルなどを提出した上で使用方法を使用者に説明すること。
- 4) 更新の対象となっている現存機器については、必要な範囲で通常廃棄可能な状態とし、機構内の廃棄場まで運搬を行うこと。
- 5) 本仕様書について疑義が生じた場合は、当院担当者と協議のうえ決定するものとする。

（要求者）

所 属 QST 病院 医療技術部 臨床検査病理課
氏 名 本村 真理